



建交労



2025年4月26日

かながわけんなんしふ

建交労神奈川県南支部

2025年春闘No.14

2024年度推進ニュース②算373

発行責任者 小島 茂

4.25 JAL 争議支援大集会（北とぴあ+） 勝利へのトランジット コンサートを開催！

日本航空による不当解雇の早期全面解決をめざす「4.25 JAL 争議支援大集会—勝利へのトランジットコンサート」が4月25日東京都北区の施設「北とぴあ」で開催されました。主催者（大集会・コンサートを成功させる会）は右下に転載した文書を配布して今回のとりくみの目的などを説明しています。合唱コンサートは「あの空に帰ろう」から「勝利の朝を信じて」まで11曲が朗読劇を交えて熱唱され会場は詰めかけた支援者との一体感に包まれました。また、福井県のオンライン参加者の挨拶、弁護団による闘争の報告、支援団体の連帯挨拶、国会議員（立憲、共産、社民）挨拶、JAL 現場（JHU 労組、現役パイロット）の声が紹介され、JHU 委員長の決意表明、客乗争議団団長の閉会挨拶、団結ガンパロウで2時間の集会が締められました。



2010年の大晦日に、JAL（日本航空）で165名の不当な解雇が強行され、15年目を迎えました。解雇撤回を求める闘いの中で、この解雇が全く必要のないものだったこと、管財人や会社が行った不当労働行為などが次々と明らかになりましたが、会社は全面解決を求める声に応じようとはしません。

争議が始まって以来、「歌」で支援してきた仲間たちは、解決のために何ができるかを考え、音楽を交えた構成で争議を伝える「4・25 JAL 争議支援大集会 勝利へのトランジットコンサート」と銘打った本集会の準備が始まりました。

「トランジット」とは、目的地の空港までに必要な燃料の補給や機体の点検などを行うため、途中の空港に立ち寄ることです。本集会で闘いの燃料を補給し、「勝利解決」という目的地に、全員が無事に到着できるようという想いを込めたものです。

今日のこの日が、JAL 不当解雇撤回争議の勝利につながり、また全ての争議の勝利へとつながるよう、本集会で共に怒りを共有し、共に楽しみ、共に声をあげましょう。

北とぴあ&On-line 併せ約1000人結集！

JAL 争議支援大集会には約 800 名が参加したメイン会場「東京都北区の北とぴあ」と On-line で全国から参加した仲間を併せて、およそ 1000 名が結集して成功しました。神奈川県南支部からは金崎書記長と赤羽特別執行委員の 2 名が参加しました。



4.20JR川崎駅前宣伝行動は6名で実施！

神奈川県南支部は4月20日に毎月恒例の JR 川崎駅前での宣伝行動を行いました。この日の行動参加者は小島委員長、清野副委員長、金崎書記長、佐藤執行委員、特別執行委員の赤羽と和泉の 6 名でした。

この宣伝行動で労働相談や組織化は実現していませんが定期的な宣伝行動で建交労と労働組合の社会的な認知度を上げ、執行委員の労働組合運動に対する意識と団結の強化につなげるためにも継続します。

